

青森県立保健大学附属図書館だより

ラポール

Rapport

第3号 2004.10

◇ 『ラポール』は、人間同士（学生&教職員&地域住民&県民）のつながりを意味します ◇

Rapport : フランス語で、関係・関連・類似点

目 次

紹介する一冊 ー秋の夜長に読破をお勧めする本ー『マイライフ・クリントンの回想』	
	健康科学部長 中村 恵子 …………… 2
運命のどんぐりー『魂のコード』について	社会福祉学科 入江 良平 …………… 3
これから必要なもうひとつのケア	理学療法学科 福田 道隆 …………… 3
看護実践の価値を知るー『ライフサポート』と『エキスパートナースとの対話』	
	看護学科 吹田 夕起子 …………… 4
障害をもって生きることの重さに感動	人間総合科学科目 嵯峨井 勝 …………… 4
雑誌記事索引の検索方法（シリーズ図書館を使いこなそう第3回）	…………… 6
データベース紹介「CINAHL」とは・開館時間のお知らせ	…………… 8

生命の絆・森のかたち 1



本学のキャンパス内にはいくつかのモニュメントが点在しており、そのうちの一つ、「SEED・誕生」は講堂のすぐ隣にあります。製作者の伊藤憲太郎氏は次のように語ります。



「SEED」。日本語では「種」を意味します。次の世代の生命を内在し、時を待ち、時が至れば発芽し、天空を目指し生長する。生命が誕生し、生長を始める時の、希望にあふれた力強い姿を造形的に表現しました。鏡面に研磨された、この「種」は、季節の姿を余すところなく映しだし、その変化を内部に記憶し、記憶の蓄積を生命の源として、深く地中に根を下ろし、成長してゆきます。明日をになう若者が集い、学び、そして巣立ってゆく。この地に場所を得たことを最大の喜びとして。

（青森県立保健大学開学記念 1999 あおもり野外彫刻展—Ⅲ

「生命の絆・森のかたち」引用）



📖 特集 学生に読んでもらいたい推薦図書 📖



紹介する一冊

～秋の夜長に読破をお勧めする本

『マイライフ クリントンの回想』～

健康科学部長 中村 恵子



ビル・クリントン著『マイライフ クリントンの回想
(上・下)』朝日新聞社

ここ数年は仕事に関する文献や書籍が中心の読書が多く、ラポールの執筆依頼があったとき、正直にいうと「どうしよう」という思いが一瞬頭をよぎりました。去年読んだ『バカの壁』や今年発刊された『死の壁』(養老孟司著)にしようか、星野富広さんの『愛、深き淵より』も良いけれど誰かが紹介していたようである。講義で使っている本にしようか、『コードグリーン』はベスイスラエル病院にて1週間ほどであったが研修したこと、マグネットホスピタルを象徴としていた時代を知る私にとってはショッキングな出来事なのでこれもよいだろうか、などと考えていた。そのようなある日、『マイライフ クリントンの回想』の日本語訳本発売(2004年9月9日発売)の報を聞き手にとって見ました。なんと厚い(ハリーポッターよりも厚い?)2冊の本である。本の著者が前アメリカ大統領であることや、彼の生い立ち、大統領として最も愛された人といわれていることに加え、生まれ育った時代が同年代であることもこの本を読み紹介する理由である。9月末の学会の開催や様々な仕事がある中でも、(他のことを押しのけて)どんどん読み込みが進む本だった。難しい理論や哲学書とは違う回想録だからでありましょう。

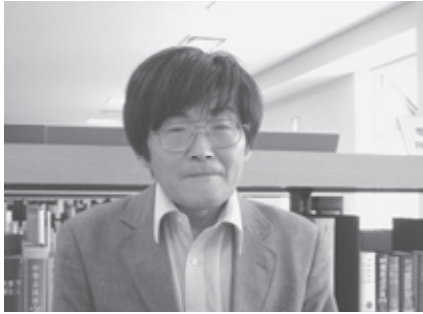
内容の一部を紹介すると、彼が生まれたときには父親は自動車事故死でこの世を去っていた。家庭内暴力に苦しみながらも祖父や学校の先生、協会の牧師さんなど、幼少のころから様々な人の意見に関心を抱いていたが、ごく普通の少年のよう

にも感ずる。また、大統領になるまでの出来事を昨日のように、そして出来事を自分はどうのように感じていたのかも書かれている。例えば司法長官時代「わたしたちが手がけた仕事の大半はここに挙げた例よりはるかに平凡だった。わたしたちは精力的に働いた。(略)老人ホームで受けられる介護の質を向上させ、公共料金を低く抑えた。」と日記のように淡々と幼少のころからの事実を、よくここまで回想して書いたものだと何度も感心する。紙面がないので、最後のところを紹介すると、「わたし自身はといえば、若いころ作った人生の目標のリストに、いまだに取り組んでいる。良い人間になるということは、生涯にわたる作業だ。他人に対する怒りを解き放つ一方で、自分の過ちに対する責任をしっかりと負い続ける必要がある(下巻p.763)」大国アメリカの大統領を2期8年間おこなったクリントン氏だから、それなりの重みもあり、それまであまり知られない、人柄に触れることができる書物である。

この本を読んでいると、温かな人間に出会えた心地と、諦めることなく、しかし柔軟に物事を進める妙技を感じることができた。実はまだ斜め読みの状態なので、今冬785ページ(上巻)と776ページ(下巻)を再度読もうと机の上を占有している幾つかの本のなかの2冊である。

秋の夜長を感じる季節になりましたので、短編ではなく読み応えがある本を手元において、音楽を流しながら(これは私流)ずっしりとした一冊を読んでみては如何でしょうか。

～運命のどんぐりージェイムズ・ヒルマン著
『魂のコード』について～
社会福祉学科教授 入江 良平



ジェイムズ・ヒルマン著『魂のコード』
河出書房新社

「保健医療福祉に関わる内容で、とくに学生に推薦したい図書」というテーマを与えられたとき、真っ先に頭に浮かんだのが、ユング派の独創的な心理学者ヒルマンによる『魂のコード』でした。

なぜか。それは、現実の具体的な人間にかかわる仕事において最も重要でありながら、最も取り上げられることの少ないテーマ、すなわち人間の個別性に正面から取り組んだ著作だからです。

著者はこの主題を抽象的・概念的に論じるのではなく、私たちひとりひとりの中に「運命の声が書き込まれたどんぐり」があるというイメージを通じて、この不可視のものを私たちの眼前に浮かび上がらせようとしています。それは私が容貌、体つき、能力などの特性によってではなく、生まれたときから端的に独自の存在であるという事実、ほとんど形而上的ときえ言えるこの事実美しいメタファーを与えます。そしてジュディー・ガーランド、ジョゼフィン・ベーカー、メニューインなどの伝記の断片を素材として、個人の人生を導いていく「どんぐり」の働きを生き生きと描き出し、読み物としても十分に面白い。

科学は普遍的な誰にとっても同一の知を追究します。学生諸君は専門的な知識を習得し、それによって専門職としての使命を果たすことができる。むしろそれにはちがいない。しかし現実のひとりひとりの人間は一回的な生を生きており、他の誰でもない絶対的に独自の存在でもあります。生身の人間を相手とするとき、この根源的な事実を忘れてしまうならば、科学的な専門知識は管理のための道具に墮してしまいます。

誰もがよく知っていながら主題的に捉えること

が困難な生の実相をあらためて思い起こしてもらいたい。そう願いつつ、この本を推薦したいと思います。

～これから必要なもうひとつのケア～

理学療法学科教授 福田 道隆



窪寺 俊之著『スピリチュアルケア学序説』

三輪書店

窪寺俊之著の「スピリチュアルケア学序説」が出版された。さっそくとびついて読んでみた。まず印象に残ったことは、「スピリチュアリティ」と「ケア」の本質を捉え、学として体系づけていたことである。筆者はまずスピリチュアリティ、ケアそれぞれについて解説し、「多様なスピリチュアリティの概念」の中に「ケア」を持ち込む理由として、「病院は人間らしさ、自分らしさを保って生きる環境にはなっていない」、「死は避けられないにしても、いつの日にか再び会う夢を懐に抱く」、「スピリチュアルケアに関心を示し、患者、家族のQOLを高め、患者の全存在に価値を与える存在になる」、などを挙げている。

またスピリチュアルケアのもたらすものとして、受ける患者、家族、スタッフには「慰め、生きる意欲、生きる意味、目的、将来の希望、罪悪感・悔いなどからの解放」が、提供する側には「深い自己洞察、自己の解放、信ずることの重要性、人間の深みの世界に触れる喜び、時間の有限性、生の広がり認識」が得られるとしている。

その他として疼痛への具体的ケア、対話の仕方について触れ、最後に日本の自然、文化、習慣、人間関係、価値観、宗教などを十分考慮した「日本的スピリチュアルケア」の必要性を説いている。

「スピリチュアルケア学」は保健・医療・福祉の立場からヒューマンケアを学ぶ者にとっても学習しなければならない必須の学問であり、本書はそれをかなえてくれる著書であることを確信した。

～看護実践の価値を知る～『ライフサポート』
と『エキスパートナースとの対話』～
看護学科講師 吹田 夕起子



スザンヌ・ゴードン著『ライフサポートー最前線に立つ3人のナース』 日本看護協会出版会
パトリシア・ベナー編著『エキスパートナースとの対話ーベナー看護論・ナラティブス・看護倫理』 照林社

看護とは何？看護師はどんな仕事をしているの？と一般の人から質問されるたびに、外部の人には看護の仕事が見えにくい、自分自身もうまく伝えきれないといった歯がゆい思いをしてきた。そんな時、米国のジャーナリスト、スザンヌ・ゴードン氏の「ライフサポートー最前線に立つ3人のナース」（1998年、日本看護協会出版会）を読み、とても感動した。3人の優れたナースの日常を追いながら、他者に伝えることが困難だと思われる看護のこまごまとしている行為を見事に引き出し、看護の真髄を捉えていたのだ。特に、私の記憶に残っているのは、在宅ケアのエレンが一人暮らしのマックを訪問した時に、身体的ケアだけではなく、戸棚や冷蔵庫の中に食べるものが十分あるかどうか点検するなどケース・マネジメントをしていた点だ。利用者の生活を整えるということの意義を改めて考えさせられた瞬間だった。

それから6年、今年新たに皆さんに紹介したい本が出現した。それは、パトリシア・ベナー編著の「エキスパートナースとの対話ーベナー看護論・ナラティブス・看護倫理」（2004年、照林社）だ。ベナーは、臨床の看護実践における5つの熟達レベル、「初心者（学生）、新人、一人前、中堅、達人（エキスパート）」を明らかにしているが、本書は、卓越した看護ケアによって日々、人々の生命を救い、人間の尊厳と価値を守ることに貢献しているエキスパートナースの素晴らしい仕事に光を当てている。15人のエキスパートナースがそれぞれの事例をナラティブ（叙述）、ストーリー（物

語）の形式で紹介しており、ケアリングの実践が明らかにされている。看護実践に根ざす豊富な知識やスキル、患者の擁護、看護倫理などが記述されており、看護実践の価値を知る貴重な本である。

～障害をもって生きることの重さに感動～
人間総合科学科目教授 嵯峨井 勝



平岩 弓枝著『小さくとも命の花は』 文芸春秋
井上 美智代著『500gで生まれた娘へ』 ポプラ社

前者は、1000g弱の未熟児として生まれた実在の子供の成長を小説化したもの。今日、1000gでも育つことは普通であるが、本書が書かれた1960年代には奇跡に近い話であった。学力、体力とも2歳年下の妹よりはるかに劣り、毎月、激しい引きつけ発作を起こして生死の境をさまよう子供を世間の偏見の中で、忙しく雑貨商を営む夫婦が国立病院の医師の献身的指導を得て、育て上げる感動の物語である。

彼の引きつけ発作には精神的要素が潜んでいると考えた医師が、親の面会なしの長期入院を勧めた。母親は、いやがる子供に心を鬼にして、「あんたはもう小学生たい。男の子がいつまでもあーちゃん、あーちゃんと付きまとっていたら、どげんことになります。そげん意気地なしでは、大きくなっても、世の中の役に立つ人にはなれんたい。あんた、大きくなって乞食か泥棒になってもよかとね…」、「……ならんけん…、俺、…乞食にも泥棒にもならん」。この入院中に、嫁舅問題を乗り越え、孫を慈しみ、真冬に素足でお百度を踏み、肺炎で倒れた祖母が死に際に、「…いいか、よしひこ、…強か子になれ、誰にも負けん強か子になれ…」、「…うん、ばーちゃん、俺、強か子になるけん…」と約束した。医師の推測は当たった。身内の愛に守られ、強くなることを自覚し、退院後は見違えるほどの健康を取り戻し、2年生で地区学校合同運動会のマラソンでチームを優勝に導くほ

どに遅く成長した。

後者は、夫の突然の死の悲嘆で、妊娠 24 週目に 500g で子を出産（1984 年）し、子の盲目がさらに追い打ちをかける話。しかし、母親の気持ちの切り替えが早い。この子を「人並みに生活できるように育てよう」と決意し、自転車乗りを教えるなど、並の親ではとてもできないことを何でもどんどんやらせる。愛情深く、しかし厳しく。子供

は、母を深く愛しながらも、人には鬼かやくぎのような人ですとからっと紹介する。中学 3 年で、全国聾唖者弁論大会で、自分の生い立ちを語り優勝する。真剣に生きる親子の壮絶な闘いの記録である。「やさしさと愛を生かす仕事につきたい」とがんばっている。

このような本を読むと、五体満足な私は、身が縮み、なかなか身長が伸びないのである。

推薦図書一覧

推薦者	書名	著者名	出版社	出版年
看護学科				
工藤奈織美	感情と看護	武井麻子著	医学書院	2001
	心理学化する社会：なぜ、トラウマと癒しが求められるのか	斎藤環著	PHP エディターズ・グループ	2003
	見えないものと見えるもの：社交とアシストの障害学	石川准著	医学書院	2004
坂江千寿子	ロリの静かな部屋：分裂病に囚われた少女の記録	ロリ・シラー、アマンダ・ベネット著	早川書房	2002
	グラッサー博士の選択理論：幸せな人間関係を築くために	ウイリアム・グラッサー著	アチーブメント出版	2003
	15 人が選んだ幸せの道：選択理論と現実療法の実践	ウイリアム・グラッサー著	アチーブメント出版	2000
三津谷恵	世界がもし 100 人の村だったら	池田香代子再話、C. ダグラス・ラミス対訳	マガジンハウス	2001
山本春江	感情と看護	武井麻子著	医学書院	2001
	他力	五木寛之著	講談社	2000
理学療法学科				
尾崎勇	妻を帽子とまちがえた男	オリバー・サックス著	晶文社	1992
	左足をとりもどすまで	オリバー・サックス著	晶文社	1994
藤田智香子	愛、深き淵より。	星野富弘著	立風書房	2000
	五体不満足	乙武洋匡著	講談社	1998
山下弘二	続フリーラジカル入門	吉川敏一著	先端医学社	1998
社会福祉学科				
大竹昭裕	憲法への招待	渋谷秀樹著	岩波書店	2001
齋藤史彦	社会福祉原論	岡村重夫著	全国社会福祉協議会	1983
杉山克己	実践エスノメソドロジー入門	山崎敬一編	有斐閣	2004
	ジェネラリスト・ソーシャルワーク	ルイーズ C. ジョンソン、ステファン J. ヤンカ著	ミネルヴァ書房	2004
	ディスアビリティ・スタディーズ：イギリス障害学概論	コリン・バーンズほか著	明石書店	2004
鈴木保巳	リハビリテーションの思想：人間復権の医療を求めて	上田敏著	医学書院	2004
	レポートの組み立て方	木下是雄著	筑摩書房	1994
露木敏子	ジョニーは戦場へ行った	ドルトン・トランボ著	角川書店	1991
長谷川真理子	ひとりひとりの人：僕が撮った精神科病棟	大西暢夫写真・文	精神看護出版	2004
増山道康	お金で悩まないこころの治療生活	井ノ瀬珠実著、藤田柊子漫画・絵	飛鳥新社	2001

* 図書館内で、「推薦図書コーナー」を設置しております。推薦コメント付です。ぜひ、ご利用ください。

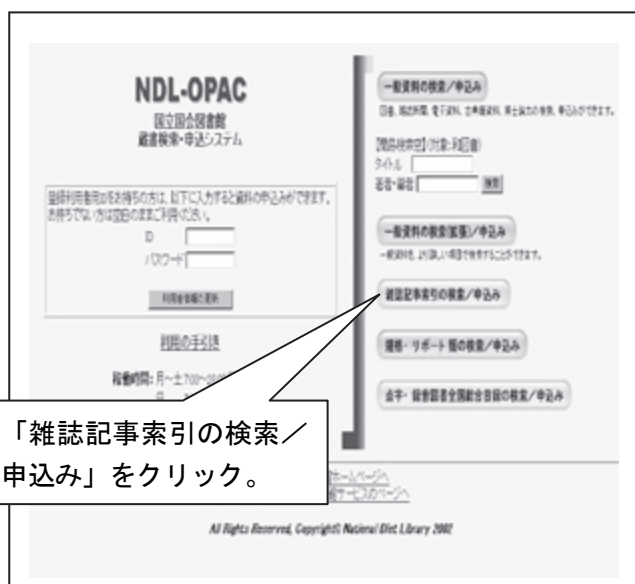
雑誌記事索引の検索方法

◆「雑誌記事索引」とは

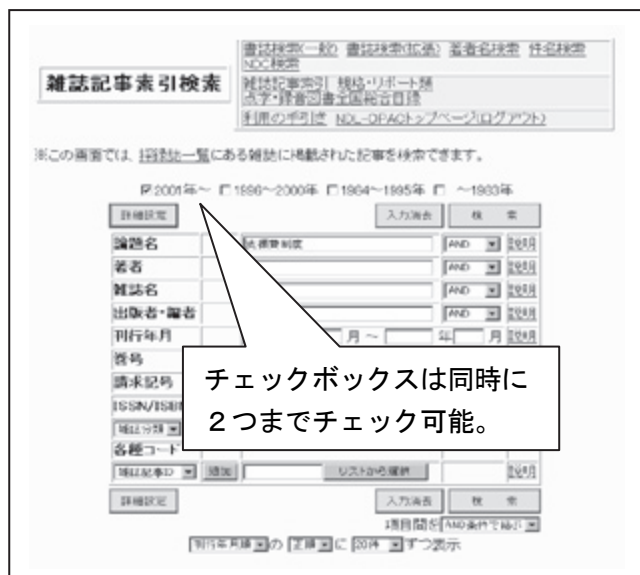
国立国会図書館所蔵の雑誌に掲載された記事の文献情報を収録したもので、日本で発表された学術論文を調べるのに非常に便利です。Web版では1983年以降の記事を検索できます。

◆雑誌記事索引で検索してみましょう！

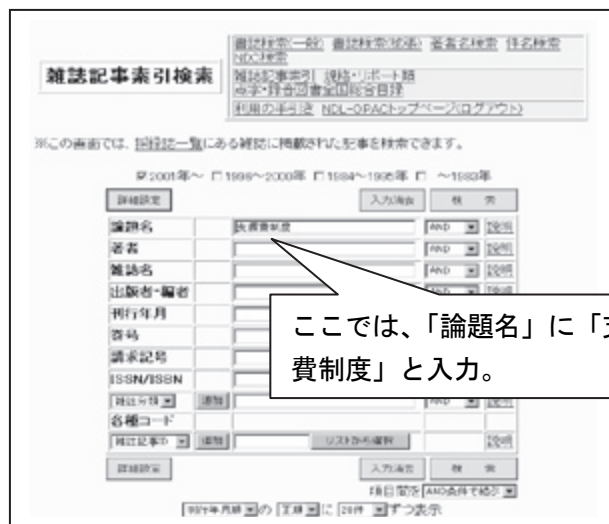
- ①図書館のホームページ画面から「データベース検索」の「雑誌記事索引」を選択します。



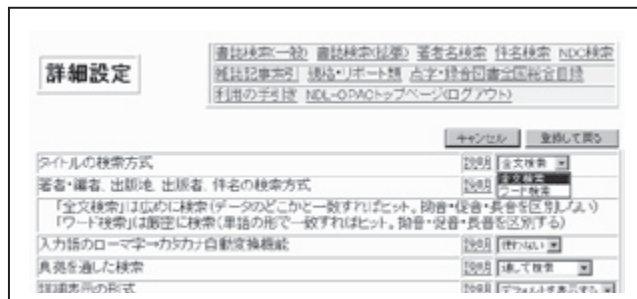
- ②検索画面が表示されたら、検索対象年をチェックボックスで選択します。



- ③キーワードを入力し、「検索」ボタンをクリックします。※キーワードは表記形とヨミ形のどちらでも検索できます。また、雑誌記事索引では基本的に「前方一致検索」が行われます。



- 画面左上の「詳細設定」をクリックすると検索条件を更に詳しく設定することができます。検索条件を厳しくするために「ワード検索」を選択すると、長音の「ー」とハイフン「-」や、「ヤ」と「ャ」の区別などがされるようになります。(例「ビヨウイン」と「ビョウイン」)



◆検索結果◆

雑誌記事索引 一覧表示

検索条件: 論題名-支援費制度
結果件数: 2001年~ 124件

1234567 / 次のページ
1ページ / 7ページ

2001年~ 1-20(124件)

1. 社会福祉改革 福祉は「構造改革」を達成—支援費制度の施行で新たな局面に(報道特集 社会保障 2003年の課題を探る) / 週刊社会保障 57(2216) [2003.1.6]
2. 障害者福祉における支援費制度とは何か—内容・性格・問題点と課題(上)に移行する障害者福祉 / 鎌島 厚 資金と社会保障 (通号 1337・1338) [2003.1合併]
3. 行政責任放棄の支援費制度 2000年から始まる新たな福祉制度の問題 / 松本 (通号 35) [2002.夏]
4. 障害者ホームヘルプの現状(最終回)障害者らがサービスを選ぶ時代に—半年前から始まる支援費制度について / Every 8(2) (通号 23) [2002.夏]
5. 今後の展望(特集 障害者ケアマネジメント) / 坂本 洋一 総合リハビリテーション 30(12) [2002.12]
6. 特別解説 支援費制度への移行について—社会福祉制度の大転換 / 川村 匡由 非営利法人 38(12) (通号 694) [2002.12]
7. ここが知りたい支援費制度 支援費制度の詳細がわかる—「支援費制度担当課長会議」報告 / 月刊福祉 85(14) [2002.12]
8. 行政機関 支援費制度の施行に向けて(特集 第40回「全国知的障害関係施設職員研究

④検索結果の「一覧表示」が表示されます。「支援費制度」では124件ヒットしました。

検索結果が200件を超えた場合、最初の200件までしか表示されないのので、検索条件を加えて絞り込む必要がある。

◆詳細表示◆

雑誌記事索引 詳細表示

一覧に戻る 絞り込み/再検索 最初から検索

記事情報 2001年~(1/124件目) 次の1件

論題 社会福祉改革 福祉は「構造改革」を達成—支援費制度の施行で新たな局面に(報道特集 社会保障 2003年の課題を探る)

請求記号 26-272

雑誌名 週刊社会保障

出版者・編者 法研 / 法研 [編]

巻号・年月日 57(2216) [2003.1.6]

ページ 89~91

ISSN 1343-5738

本文の言語コード jpn: 日本語

雑誌記事ID 503329405

⑤一覧の中から見たい文献をクリックすると、その文献の詳細が表示されます。

・検索の結果見たい文献があった場合、その文献が載っている雑誌が図書館に所蔵されているのかを、図書館蔵書検索 (OPAC) で検索してください。

ここでの「請求記号」は、国会図書館での請求記号。

『CINAHL』とは!?

CINAHLとは、Cumulative Index to Nursing & Allied Health Literatureの略で、「シナール」と読みます。看護系の論文情報を探ることができるデータベースです。1982年からの雑誌約1200誌や関連の図書など、アメリカの英語論文を中心としたデータが収録されています。また、検索結果のリンクから、約350誌の全文を閲覧することができます。

アクセスは、学内限定となります。図書館ホームページの「CINAHL」をクリックしてください。全文閲覧できる雑誌のリストは、「CINAHL」トップページの「ProQuest 収録雑誌のフルテキスト分のタイトルリスト」からご覧になれます。

詳しくは、文献検索ガイダンスでご説明いたします。随時受け付けておりますので、図書館カウンターにお申し込みください。

《開館時間のお知らせ》

無印 9:00~21:00 9:00~16:45 ■ 休館

2004年10月							2004年11月							2004年12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					26	27	28	29	30	31	
31																				
2005年1月							2005年2月							2005年3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28						27	28	29	30	31		
30	31																			

青森県立保健大学附属図書館だより ラポール 第3号 平成16年10月発行

発行：青森県立保健大学附属図書館

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1 TEL:017-765-2011

URL <http://www.auhw.ac.jp/libr/index.html>